

第1762回 例会 (令和6年11月8日)

本日のプログラム バーベキュー大会の説明：岡原 稔会員／
ロータリー財団月間に因んで：池田周二会員

前例会の記録 (第1761回 令和6年11月1日)

- ・会員数 39名
- ・出席者 36名 ・出席率 94・74% (出席免除者出席2名)
- ・欠席者 2名 金子洋方・工藤一郎の諸君
- ・出席免除者 3名 奥野千秋・岡辺賢二・牧野真樹君
- ・10月18日メーキャップ後の出席率 80・56%→91・67%に補正
10月6日地区大会登録、赤瀬健・吉岡孝恭君 10月4日定例理事会参加、三宅達夫君
10月24日倉敷RCへ恵谷龍二君

・ゲスト なし ・ビジター 山河 敏幸様 (笠岡RC)

・会長報告 本日は、国際ロータリー創立119年と262日に当たり、笠岡東ロータリークラブは創立37年と315日に当たります。

11月になりました。今年もあと2ヶ月で終わります。1年が本当にはやいですね。本日は、年次総会皆様よろしくお願いたします。

10月31日、パスト会長会が開催されました地区行動計画推進リーダー研修会がオンラインにて開催され、原田俊三会員が参加されました。

・幹事報告 榊原ガバナー事務所より、地区世界社会奉仕プロジェクトについてZOOMによるセミナーのご案内を頂いております。日時：2024年11月25日(月)14:30~15:30

榊原ガバナー事務所より、ロータリー財団月間リソースのご案内と財団室NEWS11月号をメールにて頂いております。

坂口ガバナーエレクト事務所より、クラブの現況アンケートのお願いとクラブ活動運営計画書および会員名簿の送付のお願いが参っております。

・委員会報告 なし ・配布 週報 ・食事 焼き魚定食

◎スマイル(11月度お誕生日：新井善久君 結婚記念：新井善久, 椋梨孝章, 金政一孝, 山本大介, 光井伸の諸君)

- 新井善久君 椋梨、山本大介会員卓話よろしくお願いたします。次年度役員の紹介があります。
- 金政一孝君 年次総会があります。さらなる新井年度も盛上げをよろしくお願いたします。
- 池田 孝君 山河様ようこそ。 中濱康幸君 本日の年次総会よろしくお願いたします。
- 原田俊三君 昨日クラブ行動計画推進リーダー会議に参加しました。
- 福嶋啓祐君 赤瀬さん椅子をありがとうございました。皆さんハラスメントにお気をつけ下さい。
- 恵谷龍二君 日本フードサービス協会50周年の会にて農林水産大臣表彰をいただきました。
- 佐藤林平・岡原稔・佐々木敦君 ネクタイを忘れました。申し訳ございません。
- 河田恭志君 自転車のながら運転罰則。R7年4月より2ヶ月前から車検が受けられます。
- 吉岡孝恭・白神雅夫君 山陽新聞に同窓会の写真が載りました。
- 山本雅夫君 赤瀬さん椅子を有難うございました。 山本大介君 本日卓話をさせていただきます。

スマイル 30,000円

●プログラム 年次総会／会員一口卓話 (椋梨孝章・山本大介会員)

椋梨孝章君

一張羅(いっちょうら)とは、一番上等の衣装の事で「いっちょうらい」とも言われます。サンスクリット語の一張とは、数量の単位であり、羅とは布を指します。古代インドで嫁に行く大切な娘の為に、一張の布を(日本で言う正絹一匹)を持たせ、その布で新郎の衣装を作ります。新郎は、新婦より送られた羅で作った衣装を着て結婚式に臨みます。それより、一番上等な衣装を一張羅と言われます。現在もその風習は残っているようで、実際にインドの田舎町で偶然結婚式に出会った時、地域の人から新郎の衣装は新婦からの布で作られたと聞きました。

山本大介君

競輪の始まりは太平洋戦争の直後にさかのぼります。戦後の復興資金の調達の為昭和23年に「自転車競技法」という特別法を成立させ公営競技として競輪が全国に広がっていきました。昭和23年に福岡県の小倉競輪場で初めて競輪が開催、当時人気の高かった野球を同地で開催することを条件として実現した。これが予想以上に人気を集め、競輪は急速に全国へと広まっていき、その後5年で全国63カ所まで作られた。この競輪人気が発したきっかけの1つに控除率の低さ(ある賭けに対してどれだけの手数料をとられるかを示す割合)がある。当時の競馬で34.5%と高かったのに対し、競輪の控除率は25%と低く抑えられていたことがある。

急速な発展の反面、運営体制や選手のルール違反など多くの問題が勃発する。当時の競輪選手は募集によって集まった資格などもない人々で多くは素人集団。昭和24年7月に選手募集を停止するまで事件や事故が続発した。競輪は競馬やボートと違い人間の意志で結果を左右できてしまう競技であり、不正がつきものと疑念をもたれることも多かった。最終的には競輪は廃止に至らなかったものの、施設の耐火性向上や選手の資格再検討が開催の条件となり、土日祝日は開催しないとの条件も加わり、多くの競輪場が閉鎖に追い込まれる、昭和50年には売上、入場者数で他の公営競技に抜かれる。この後、自転車の検車制度の整備や審判制度、ルールの厳格化、そして選手への改革が進められて行き、適正な運営と人気回復を目指していった。

その一つに日本サイクリストセンター(競輪選手養成所)が設立し、競輪選手としてふさわしい人物の養成が行われた結果、目立った事件は減少した。そして今から40年以上前に日本の競輪が世界のケイリンと羽ばたく契機がやってきます。昭和52年世界自転車選手権のスプリントに当時の競輪選手が出場し日本人初となる優勝をします。

中野浩一氏です。当時としては前代未聞の快挙で国内外で大きく取り上げられるニュースとなり、競輪業界にも注目が集まった。中野浩一氏は昭和55年、当時25歳の若さで年間獲得賞金1億円を突破。これは日本に数多くプロスポーツが存在しますが、日本で初めて1億円を超えた選手の誕生が競輪選手だった。当時のプロ野球選手の平均年俵は602万円、一般サラリーマンの平均年収が約294万円の時代です。

中野浩一氏の活躍を原動力に競輪は新たな新時代が幕を開け現在男女共にオリンピックの正式種目に採用されている。現在競輪場は全43場(中国地方 玉野 広島 防府)

サテライトは70カ所程度(中国地方 笠岡 津山 山陽 山陰 ※鳥取は廃止)

みなさん一度足を運んでいただければと思います。

※年次総会については後日記載させていただきます。

次週以降のプログラム&行事予定

- 11 / 9 (土) 第2回会長幹事会 17:00~19:30 祥華(新見)にて
- 11 / 10 (日) 悲眼院へバーベキューコンロ贈呈式およびバーベキュー大会の開催 9:00集合
- 11 / 15 (金) 第3例会 「カーボンニュートラルの必要性」ゲスト卓話 岡様・田坂様
- 11 / 17 (日) 囲碁同好会 11:00~ 魚専
- 11 / 22 (金) 第4例会 親睦夜間例会 19:00~